大分県外科医会 第 247 回例会

日時：令和 4年 9月10日(土) 14:00～17:00

会場：大分県医師会館 7階大会議場

[1] 当番施設代表挨拶 中津市立中津市民病院 折田 博之

[2] 会長挨拶 大分県外科医会会長 杉尾 賢二

[3] 一般演題

I. 呼吸器外科、小児外科 座長：内匠 陽平（大分大学医学部 呼吸器・乳腺外科）【14:06～14:22】

- (1) 術中 ICG 蛍光法を用いて温存を選択した遊走脾捻の一例
大分県立病院 小児外科
皆尺寺 悠史、佐藤 智江、福原 雅弘、伊崎 智子
- (2) 小児気道異物の摘出症例
大分大学医学部 呼吸器・乳腺外科
佐藤 貴大(研修医)、辛島 高志、安部 美幸、内匠 陽平、橋本 崇史、宮脇 美千代、
小副川 敦、杉尾 賢二

II. 血管外科、その他 座長：漆野 恵子（中津市民病院心臓血管外科）【14:22～14:38】

- (3) 気管腕頭動脈瘻からの急性出血に対して瘻閉鎖＋腕頭動脈再建術施行後に吻合部仮性動脈瘤を生じ動脈塞栓術＋右総頸動脈結紮術を行い救命した1例
国立病院機構別府医療センター心臓血管外科¹⁾、外科²⁾
竹林 聡¹⁾、森田 雅人¹⁾、中山 謙¹⁾、久米 正純¹⁾、于 明洋²⁾、小山旅人²⁾、長谷川 巧²⁾、吉田 大輔²⁾、田中 仁寛²⁾、福山 誠一²⁾、甲斐 成一郎²⁾、松本 敏文²⁾、川中 博文²⁾、矢野 篤次郎²⁾
- (4) 下腸間膜静脈-下大静脈短絡遮断術が奏功した IrAE に起因した難治性肝性脳症の1例
大分県厚生連鶴見病院 消化器外科
横山 直樹、堀尾 俊介、野口 琢矢、柴田 浩平

III. ヘルニア 座長：一万田 充洋（大分医療センター 外科）【14:38～15:02】

- (5) 閉鎖孔ヘルニア嵌頓に TAP 術を施行した1例
大分医療センター 外科
笠木 勇太、藤川 乱麻、一万田 充洋、橋本 直隆、高祖 英典、矢田 一宏、梶島 章
- (6) 腹部鈍的外傷による小腸穿孔をきたした両側鼠経ヘルニアの一例
新別府病院 外科
松田 佳恵、田島 正晃、原 貴生、菊池 暢之
- (7) 転倒により発症した遅発性外傷性横隔膜ヘルニア嵌頓の1例
大分赤十字病院 外科
三田 純也、廣重 彰二、中村 駿、高橋 純一、坂田 一仁、多田 和裕、水内 寛、
大場 太郎、吉住 文孝、岩城 堅太郎、武内 秀也、梶山 潔、福澤 謙吾

IV. 消化器(1) 座長：久松 雄一（九州大学病院別府病院 外科）【15:10～15:34】

- (8) 妊娠合併虫垂炎に対して腹腔鏡下手術を施行した6例

大分県立病院 外科

調 広二郎 (研修医)、堤 智崇、吉田 百合絵、前田 哲哉、井口 詔一、高山 洋臣、寺師 貴啓、
安田 一弘、池部 正彦、板東 登志雄、宇都宮 徹

(9) 胆嚢癌との鑑別が困難であった Intracystic papillary neoplasm の 2 例

大分大学医学部 消化器・小児外科

田中 亮太、川崎 貴秀、折本 大樹、天野 翔太、河村 昌寛、藤永 淳郎、河野 陽子、増田 崇、
平下 禎二郎、遠藤 裕一、猪股 雅史

(10) 腹腔鏡下に切除した下行結腸海綿状血管腫の 1 例

JCHO 南海医療センター

松本 紘明、河原 大和、武内 裕、藤井 及三、森本 章生

V. 消化器 (2) 座長：川崎 貴秀 (大分大学医学部 消化器・小児外科) 【15:34～15:58】

(11) 手術を施行した成人腸重積症例の検討

中津市民病院 外科

樋口 椋介 (研修医)、宗村 岳人、田中 悠一郎、石田 俊介、溝田 和弘、野田 大樹、
梅田 健二、永松 敏子、内田 博喜、江頭 明典、福山 康朗、折田 博之、是永 大輔

(12) 90 歳以上の超高齢大腸癌患者に対し腹腔鏡下大腸切除術を施行した 2 例

大分岡病院 消化器センター

古川 雄一郎 (研修医)、長澤 由依子、蔀 由貴、渡邊 公紀、佐藤 博、荒巻 政憲

(13) 直腸癌の治療戦略 -TNT から最近の話題まで-

九州大学病院別府病院 外科

久松 雄一、安東 由貴、廣瀬 皓介、戸島 剛男、米村 祐輔、増田 隆明、三森 功士

[4] 特別講演

【16:15～17:00】

司会：中津市立中津市民病院 折田 博之

「腹腔鏡下胃切除 ～最近の取り組み～」

大阪赤十字病院 消化器外科・小児外科主任部長

金谷 誠一郎先生

[5] 次回当番施設代表挨拶

大分赤十字病院

福澤 謙吾

[6] 閉会挨拶

中津市立中津市民病院

折田 博之

※ 1. 一般演題は、発表時間 5 分、討論 2 分 時間厳守をお願いします。

※ 2. 抄録は演題名、所属 (所属が異なれば改行)、発表者、共同発表者、抄録本文の順に邦文ワープロ (フォント 10.5 MS 明朝、1 行 25 字詰 16 行※16 行には演題名・所属・発表者含む) で記入して下さい。

・発表者及び共同発表者は日本臨床外科学会会員に限り、未入会者は記載しないでください。

・提出先：大分県外科医会事務局 (gekaikai@oita-u.ac.jp) にメールにてご提出下さい。

・提出期限：例会終了後 1 ヶ月以内

※ 3. 本会は日本医師会生涯教育制度適合学術会に指定されています。